

令和元年度

八代市議会議会運営委員会記録

審査・調査案件

1. 付議案件について	1
1. その他	5

令和元年9月12日（木曜日）

議会運営委員会会議録

土 田 英 雄 君

令和元年9月12日 木曜日

午前10時40分開議

午前10時55分閉議（実時間15分）

（午前10時40分 開会）

○委員長（成松由紀夫君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

○本日の会議に付した案件

1. 付議案件について

1. その他

◎付議案件について

○委員長（成松由紀夫君） まず、1、付議案件についてを議題とし、（1）市長追加提出議案1件について説明を求めます。

○財務部長（佐藤圭太君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）財務部の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。それでは、着座にて説明させていただきます。

○委員長（成松由紀夫君） どうぞ。

○財務部長（佐藤圭太君） 一般質問初日の追加提出議案といたしまして、予算議案1件を予定いたしております。

議案第74号の令和元年度一般会計補正予算・第6号で、補正額は1400万円でございます。

内容は、先般入札に付しました八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）でございますが、新築工事におきまして、有効な応札がなかったため、入札不落となりましたことから、再度設計図書の積算見直しを行い、本年度不足分の経費の追加と継続費について増額等の変更を行うものでございます。

継続費については、総額4500万円の増額を行い、年度は令和2年度までから令和3年度までに、また、各年度の年割額についても変更を行っております。

以上、予算議案1件、一般質問初日の17日に追加で提出し、先議をお願いしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（成松由紀夫君） ただいま説明が終わりましたが、委員長からお願いが一つござい

○本日の会議に出席した者

委員長	成 松 由紀夫 君
副委員長	村 川 清 則 君
委員	亀 田 英 雄 君
委員	大 倉 裕 一 君
委員	谷 川 登 君
委員	橋 本 幸 一 君
委員	古 嶋 津 義 君
委員	村 山 俊 臣 君
委員	百 田 隆 君
委員	山 本 幸 廣 君
議長	福 嶋 安 徳 君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

財務部長	佐 藤 圭 太 君
建設部	
建築住宅課主幹兼建築係長	秋 野 亮 二 君
経済文化交流部	
文化振興課主幹 兼文化財係長	米 崎 寿 一 君
議会事務局長	宮 田 径 君

○記録担当書記

増 田 智 郁 君

ますが、さきに行われた入札でございますけれども、そもそも入札額自体公表されておられません。よって、今後の入札にも影響が出てくるかというような質疑につきましては、御遠慮願いたいと思います。

それでは、何か質疑ございませんか。

○委員（亀田英雄君） 先ほどちょっと代表者会議でも話があったんですが、しっかりした積算ばせんばいかんぞというような話がございました。今回1400万ということで、積算見直しということだったんですが、どのようなやり方をされて、今委員長からも話があったんですが、数字は言わんでよかですが、どのようなやり方の積算の見直しなのかということをお知らせください。

○委員長（成松由紀夫君） 今後の入札に影響がない範囲で。

○建築住宅課主幹兼建築係長（秋野亮二君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）建築住宅課の秋野と申します。

見直しの内容についてですけども、建築工事の不落という結果を受けまして、設計コンサルと協議を行いまして、主に積算で採用しておりました見積もり単価の見直しを行いました。設計コンサルとですね、専門業者交えまして、この見積もり単価について、再度精査を行いまして、見直しを行った結果ですね、今回増額ということになりました。

以上でございます。（委員亀田英雄君「わかりました」と呼ぶ）

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。ほかにございませんか。

○委員（大倉裕一君） 単価の見直しという、その単価は何の単価でしょうか。

○委員長（成松由紀夫君） 話せる範囲で結構ですよ。

○建築住宅課主幹兼建築係長（秋野亮二君）

単価の見直しの内容ですけども、主に屋根がですね、特殊の形状をしております、屋根と、屋根に付随しますガラスとかサッシとかですね、その辺の見直しを主に行いました。

見直しの内容としては、主に、今申しましたところではあるんですけども、一回、こういった不落という結果になりましたものですから、全て見直しを行ってはおります。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、それでは、市長追加提出議案1件についての委員会付託について協議いたします。付託はいかがいたしますか。

○委員（亀田英雄君） 先ほどもありましたように、しっかりした説明を求めるということじゃあ、委員会付託が望ましいかなということで考えます。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） それでは、付託ということでございますので、お諮りいたします。

市長追加提出予定議案1件については、委員会付託することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

それでは、委員会の付託先について、説明を求めます。

○議会事務局長（宮田 径君） 議会事務局、宮田です。

それでは、付託について御説明いたします。座って説明をさせていただきます。

○委員長（成松由紀夫君） どうぞ。

○議会事務局長（宮田 径君） ただいま付託と御決定いただきました案件につきましては、現在まだ議案が送付されておりませんので、お手元の令和元年9月定例会追加提出予定議案という1枚物をごらんいただきたいと思います。議案第74号・令和元年度八代市一般会計補正予算（第6号）につきましては、八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）新築工事に関する案件でございますので、所管は総務委員会及び経済企業委員会になろうかと思えます。

なお、9月17日当日の流れといたしましては、質疑、一般質問が終了しました後、一旦議事を中止いたしまして、市長より提案理由説明後、休憩をとって、その間委員会を開催することになります。委員会が終了後、本会議を再開しまして、委員長報告、質疑、討論、そして採決という流れになろうかと思えます。

以上です。

○委員長（成松由紀夫君） ただいま説明が終わりましたが、何か質疑ございませんか。

○委員（山本幸廣君） 今、局長が説明したんですけども、建設関係等々にもかかわるような気がするんですけども、基準はないんですけども、今提案されたのになんなんということを言わないんですけども、今後はですね、そういうような関連のあるところについてはですね、やはり予算審議という形の中ですべきじゃないかなということが意見ですから。

○委員長（成松由紀夫君） 意見ですね。あくまで所管の範囲で局長もおっしゃられたと思いますので、慣例どおりでいいかと思われます。

ほかにごございませんか。

○委員（大倉裕一君） 今、一般質問を中断してということで説明があったと思うんですけど、十何年議員をしまして、「中断じゃないか、終了だ」と呼ぶ者あり）一般質問の後に委員会をするという、開催をするということは、これまではなかったと、私の認識の中ではあ

ります。なぜ、次の週の常任委員会に付託ができんとですかね。そのあたりはどう判断されているのでしょうか。

○委員長（成松由紀夫君） 先ほど代表者会で、その旨、1年おくれる、2年おくれるの説明が、各派代表者会であっておりますが、亀田委員からそこら辺の説明はなかったんですか。

○委員（亀田英雄君） まだそこまでしとらん。

○委員長（成松由紀夫君） じゃあ、わかる範囲で誰が答弁は、さっきの各派代表者会の内容。岩崎次長が、スピード感を持ってせないかんというところのくだりがあったですね。

○文化振興課主幹兼文化財係長（米崎寿一君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）文化振興課の米崎と申します。

伝承館のスケジュールについてなんですけども、今回收藏いたしますメインといいますか、笠鉾收藏というのが一つの大きな、各団体からの要望事項という、切望されているところがございまして、文化財的な收藏を行うに際しまして、新築の建物を建てた際、主に今回は鉄筋コンクリート造なんですけれども、そちらのほう、新築後のアルカリ性のガス、要はそういった新築後特有の水分の蒸散ですとか、そういったところもございまして、基本的には博物館の收藏施設をつくる場合には、夏のシーズンを二夏越すと、その後で收藏を始めるといったところがございまして、そういったしめんと、文化財の中身によっては、幕とか、色の変色を来したりと、そういう影響があると。

今回の御提案の内容としましてはですね、令和2年度、来年の夏までにですね、收藏庫部分のコンクリートの打設、躯体工事が終わってしまってますね、来年の夏と再来年の夏と、その後に笠鉾をお預かりするというようなスケジュールが最短であろうと考えておりまして、この

夏に入る前までにコンクリート躯体の打設が終了しないと、もう一シーズンお預かりができない状況が発生するといったところが懸念されているところで、先般2月には、中心街のほうで大きな火事がございまして、町内の笠鉾の収蔵庫の目の前まで火事が迫っておりました。そういったところもありますので、火災の懸念、災害からの保全といったところもありますので、できる限りの早期の着工をお願いしたいというところがございます。

以上でございます。

○委員（大倉裕一君） 今の状況でいくと、先議をやって、一般質問の後に、期間中に委員会を開いてやっていっても、工期的には非常にタイトな中でやらないかんというようなことを考えるならば、もうちょっと工期をゆっくりとした中でやるのも、私は方法かなというふうに、ちょっと思っています。それはもう、質問ではありませんので、意見として整理していただいて構いませんけど、そういうふうな思いを、今持って聞いたところです。

○委員（山本幸廣君） 執行部に、先ほど来、各派代表者会で、私もたくさん、今不落の原因等についてですね、皆さん方に御発言したんですが、要は、原因は不落ですからね。スケジュールはスケジュールとしてきちっとしてから、もともととがあるわけですよ。不落があったから、はっきり言って、今のような説明をしなきゃいけないと。そういう中で、今回の一般質問の会期中に先議をしなきゃいけないという、こういう問題が起きたこと自体をですね、しっかり反省をしながらですね、私は、やっぱり執行部として、反省の中でですね、お願いをするという、委員長の配慮というのは、私もわかります。そういうことで、なるだけなら1日も早くというのは、私もこれは賛成ですよ。ただ、スケジュールがあって、不落があったことだけはですね、しっかり頭に入れていただきたいと。

これがやはり、先ほど言ったように、市民の皆さんに対してですね、どう責任——説明するかということも含めてですよ、しっかり考えていただければなと、これは強く要望しておきますので、はい。

○委員（橋本幸一君） 確かに今、山本委員が言ったように、この不落が原因としては、今回のこのような、非常に突発的な先議ということになったわけですが、やはり、逆に言えばですね、これだけやっぱり不落が生じたから、早急に対策を、職員の皆さんが練り直して、積算やり直して短期間でですね、これだけの、やっぱり準備ができて、議会にかけるということは、私、逆によく頑張っていたいてたなという、そういう感も受けるわけで、議会としてもですね、それを非常に、これまで前例のないような議会で先議を行うちゅうことも、私は議会としても、非常にやっぱりいいことと、逆に私は敬意を表したいと思います。

○委員長（成松由紀夫君） ほかに。

○委員（山本幸廣君） 議会側は、とにかく執行部の提案をチェックするというのが、これは機能としては一番大事なところなんですよ。だからこそ、いろんな議員の方々が、こういう指摘をされるということで御理解をしてください。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） 今ですね、山本委員から指摘があったスケジュールあって、不落があつてという、橋本委員の意見も含めて考えますと、非常にスピード感を持った対応ですね、後処理というのは、非常に大事なわけですが、ただ、やっぱりスケジュールがあつて、不落があつたと。そして、議会をまた開かないかん。いろんな関係各位、議会関係にですね、少なからず御迷惑がかかっているという

ことだけは、執行部は認識して、そこをですね、設計コンサルあたりにもしっかり指摘しといてください、こういう議会の中から意見がありましたよと。その後始末を自分たちでこう、スピード感を持って、今やられているというのが、橋本委員の意見でございますので、しっかりですね、それはスケジュールに乗って、スピード感を持ってやっていただきたいなというふうに思いますので、指摘だけは、設計コンサルあたりにはしといてくださいね。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(成松由紀夫君) なければ、それでは、その審査を各常任委員会に付託し、先議することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(成松由紀夫君) 御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、付託表につきましては、来週火曜日、17日当日に配付いたします。

◎その他

○委員長(成松由紀夫君) 次に、2、その他について何かございませんか。ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(成松由紀夫君) なければ、以上で本日の議会運営委員会を閉会いたします。

(午前10時55分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和元年9月12日

議会運営委員会

委員長